

宇治市魅力発信行動指針の作成に向けた 検討事項の整理・確認資料

～ 初案作成に向けて ～

平成26年10月

宇治市

魅力発信行動指針の作成に向けた検討事項について

魅力発信行動指針の作成に向けては、昨年度の研究結果や、事務局で実施した関係団体へのヒアリング、他市事例等を踏まえ、次の事項について検討・整理する必要があります。

本日の委員会ではこれらの事項について委員の皆様からご意見を頂戴し、初案の取りまとめを行いたいと考えています。

検討事項

- 1．魅力発信の基本的な考え方
 - 行動指針策定の背景
 - 魅力発信の意義
- 2．宇治市の魅力
- 3．魅力発信の目指す効果
 - 魅力発信の目的
 - 魅力発信の目標と指標
- 4．行動指針
 - 魅力発信の行動主体と役割
 - 魅力発信の方策
- 5．取組実行の仕組み

1. 魅力発信の基本的な考え方

➤ 行動指針策定の背景

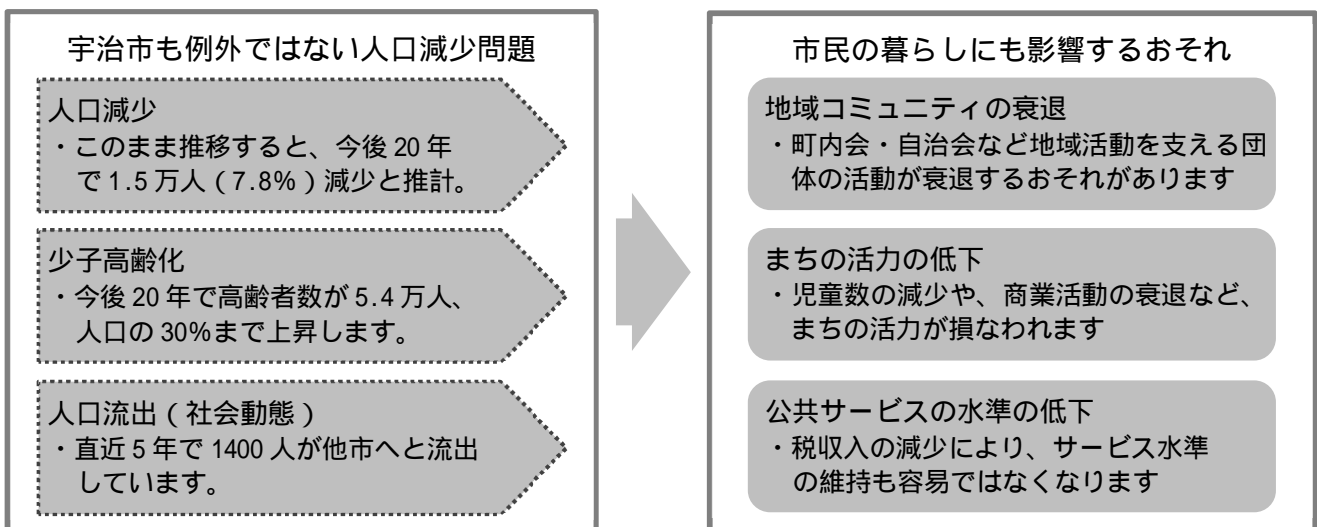
～ 将来にわたって、活力とにぎわいのあるまちであり続けるために ～

- ・本市の人口は、第5次総合計画の人口推計によると、今後20年で約1.5万人（7.8%）減少すると推計しています。（2010年192,999人、2030年177,946人）
- ・人口の減少により、地域コミュニティの維持が難しくなるとともに、まちの活力が低下する恐れがあります。また、公共サービスの水準を維持することも容易ではありません。
- ・近年、転出人口が転入人口を超過する傾向があり、人口流出の抑制は解決すべき大きな課題といえます。

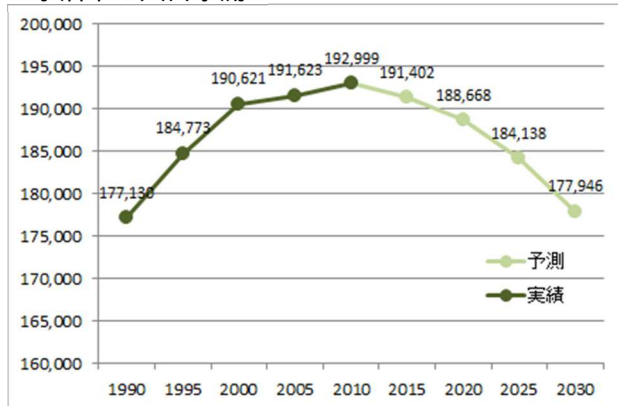
（参考）

- ・地方では若年層が都市部に流出する傾向が指摘されており、一部の自治体が消滅する可能性が指摘¹されています。

¹日本創成会議（座長：増田寛也東京大学大学院客員教授、元総務相）の人口減少問題検討分科会 提言「ストップ少子化・地方元気戦略」（平成25年5月8日）



宇治市の人口予測

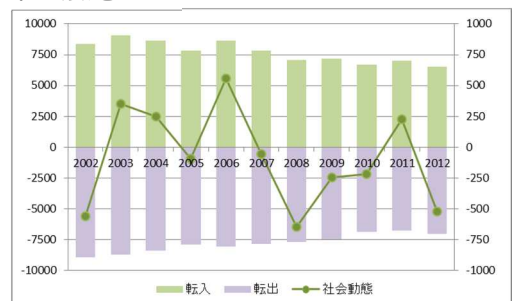


社会動態とは転入・転出に伴う人口の動き。なお、出生・死亡による人口の動きは自然動態という。

高齢者数・高齢化率



社会動態



➤ 魅力発信の意義

- ・各種団体へのヒアリングや、市民アンケートによると、以下のような課題がみられます。
- ・これらの意見等を踏まえ、事務局として「魅力発信の方向性・目的」を次のとおり、設定してはとを考えます。

参考：各種団体のヒアリング結果より

人口減少対策として、まずは本市に住んでいる人が住み続けてもらうことが大事である。そのためには、宇治の良さを市民に知ってもらう必要がある。
なかでも、子どもに宇治の魅力を知ってもらうことが重要である。子どもから親にそして、高齢者へと連鎖し、市民全体の宇治への愛着へつながる。
その結果、定住につながると考えられる。

参考：市民アンケート結果より

- 宇治茶まつりや宇治田楽まつり、宇治灯り絵巻は市外の評価は高いが、半数近くの市民が知らない。
- 年代層別の愛着度は、60歳以上が高く、30～50歳代が低い傾向にある。



(事務局案)

～ 魅力発信により市民の宇治への愛着を育み、人口の減少を抑制する～

人口減少に歯止めをかけるため、人口流出の抑制・社会動態増加を目指します。

そのためには、まず市民が宇治の魅力を再認識し、**宇治への愛着をより強くしていくことが必要**と考えます。

市民参加による魅力発信は、その中心となる手段です。

まずは、宇治で育った子どもたちが、成長しても宇治に住み続けてもらうためにも、子どもへの働きかけは重要です。

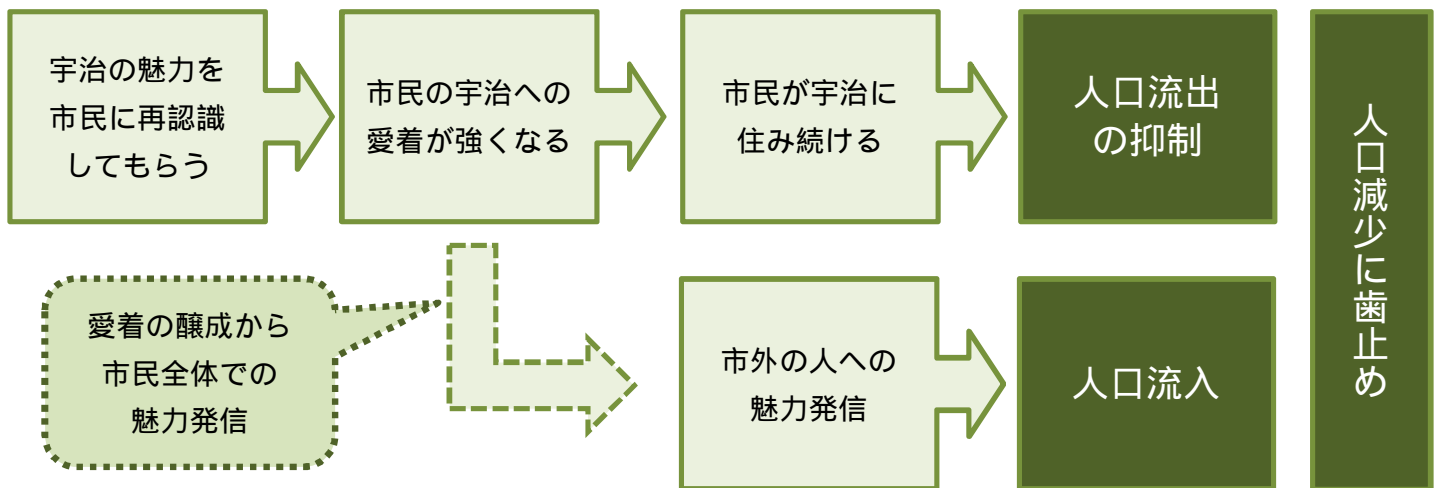
アンケート結果で愛着度の低い、子育て世代への働きかけも重要です。

愛着度の高い60歳以上の世代も含め、宇治への愛着をはぐくみ、住み続けてもらうことを目指します。

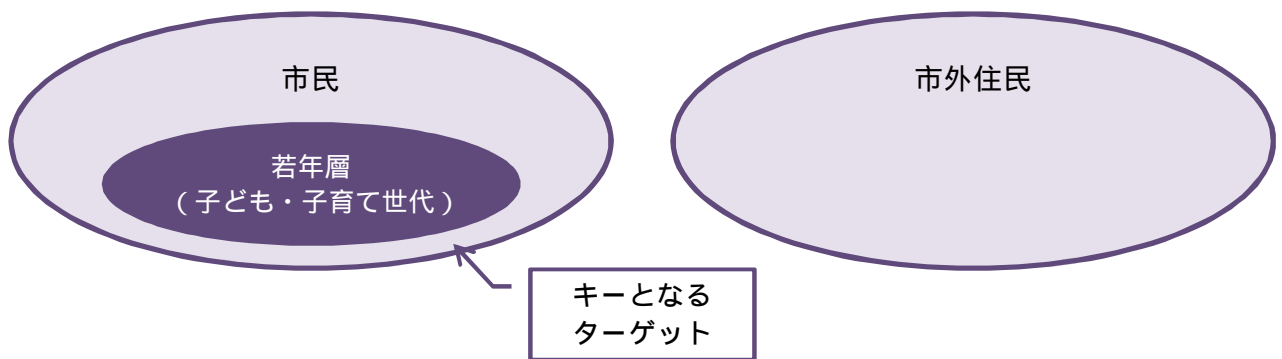
愛着度の醸成を図り、市民全体で市外への魅力を発信する行動への転換を促し、市外の人にも宇治に住んでもらうことを目指します。

人口流出の抑制から人口流入へとつながり、最終的に人口減少に歯止めをかけることを目的に設定します。

魅力発信から「人口減少に歯止め」への関係性



魅力発信の対象者



参考：関連計画との関係

本行動指針は、「宇治市将来戦略プラン」に定められた施策「魅力発信の仕組みづくり」に位置付けられます。

魅力発信という点では、同じ方針に基づく「宇治市観光振興計画」における情報発信と類似しますが、観光振興計画が観光振興を目指す計画であるのに対し、本行動指針は人口減少に歯止めをかけることを目指す点で異なります。ただし発信する魅力の多くは共通することから、相互の効果を高めるべく連携します。

2 . 宇治市の魅力

- ・本市は、歴史資源や文化資源、自然資源など、多岐に渡る魅力を有するまちです。
- ・民間シンクタンクの都市のブランド力の調査では、宇治市は全国1,000自治体の中でも上位に位置し¹、全国でも有数のブランド力があるまちです。
- ・この強みを活かしながら、「宇治に住みたい」「宇治をもっと訪れたい」という気持ちにつながる工夫が魅力発信の主な活動となると考えられます。
- ・行動指針には、以下のようなカテゴリーで、宇治の魅力を掲載します。積極的に発信すべき魅力があればご意見をお願いします。

1：株式会社ブランド総合研究所「地域ブランド調査」。2014年実施の調査では地域が魅力的かを示す設問で38位。

～ 宇治の暮らしの魅力～

京都や大阪に近接しながら、身近に自然と触れ合うことのできる暮らしの魅力

お年寄りや子供が安心して暮らすことのできる魅力

現在も歴史文化が日常生活に息づく、暮らしの奥深さに関する魅力

互いに支え合う地域コミュニティの魅力

多くの人との触れあいやにぎわいなど、暮らしに彩りを与える魅力 等

～ 宇治の魅力を創造している市民～

宇治の歴史文化や地域産業を支えている市民

地域の自然などを活かして、新たな暮らし方をしている市民

○地域のまちづくりを支えている市民

人気店として、全国各地から多くのお客さんを呼んでいる事業者 等

視点を变えて、人に着目した魅力発信も効果的かと考えています。
話題性のあるキャリアやエピソードをお持ちの方をご存じであれば
教えてください。

3 . 魅力発信の目指す効果

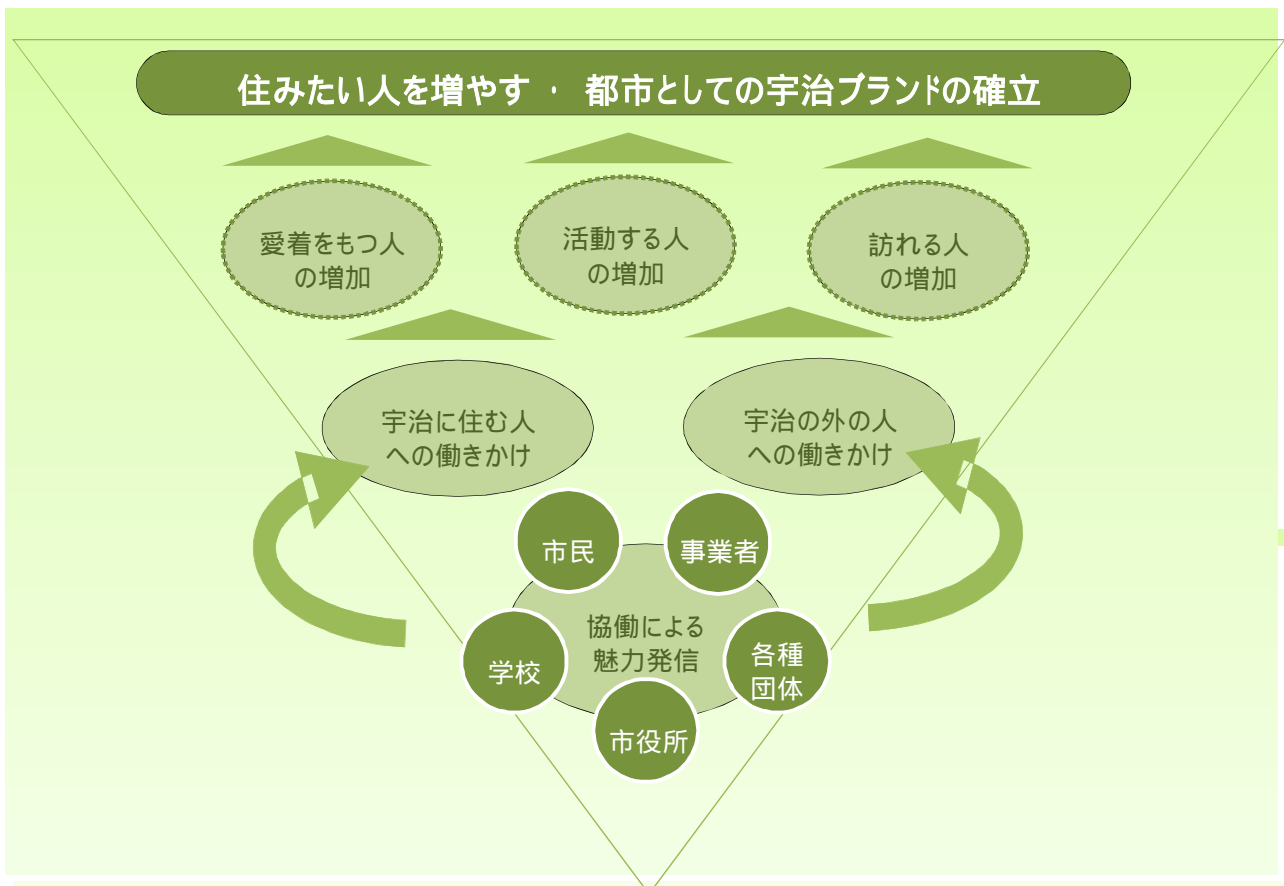
➤ 魅力発信の目的

～市民参加による宇治市の魅力の再認識・創造・発信を通じて、

確固たる宇治ブランドを確立し、選ばれるまちとなって持続的発展を目指す～

- ・魅力発信をきっかけとして、市民が宇治の魅力の再認識し、これからも宇治市に住み続けたいと実感できるようにします。また、都市としての宇治ブランドを確立することにより、市外の人にも住みたいまちと感じてもらおうことを目指します。
- ・魅力発信の効果を高めるため、取組は市役所だけでなく宇治の魅力を良く知っている市民、事業者、学校などが協働で行ないます。また、魅力発信の取組の浸透が、まちに愛着を持って活動を行う人口・人材を増やし、人が生き生きと活動を行えるまちの持続的な発展につながることを目指します。

魅力発信の目的イメージ



➤ 目標と指標

- ・行動指針により、実現する目標について検討します。
- ・また、その目標に対して、具体的に目に見える指標を設定し、取組の進捗についてみんなで共有しながら取組を進めることを検討します。

目標（例）		指標（例）
最終目標	宇治に暮らしたいと思う人を増やす	<ul style="list-style-type: none"> ● 社会動態 ● 市民の定住意向（アンケート） 等
中間目標	宇治に愛着を持つ市民を増やす	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民の愛着度（アンケート） ● イベントや祭りなどの参加者数 等
	宇治の魅力向上に寄与する活動を行う市民を増やす	<ul style="list-style-type: none"> ● 活動団体数・参加者数 ● 各種活動の状況 等
	宇治を訪れる人を増やす	<ul style="list-style-type: none"> ● 主要観光地訪問者数 ● 市外からの通勤・通学者数 ● 地域ブランド調査（全国調査） 等

4 . 行動指針

➤ 魅力発信の主体と役割

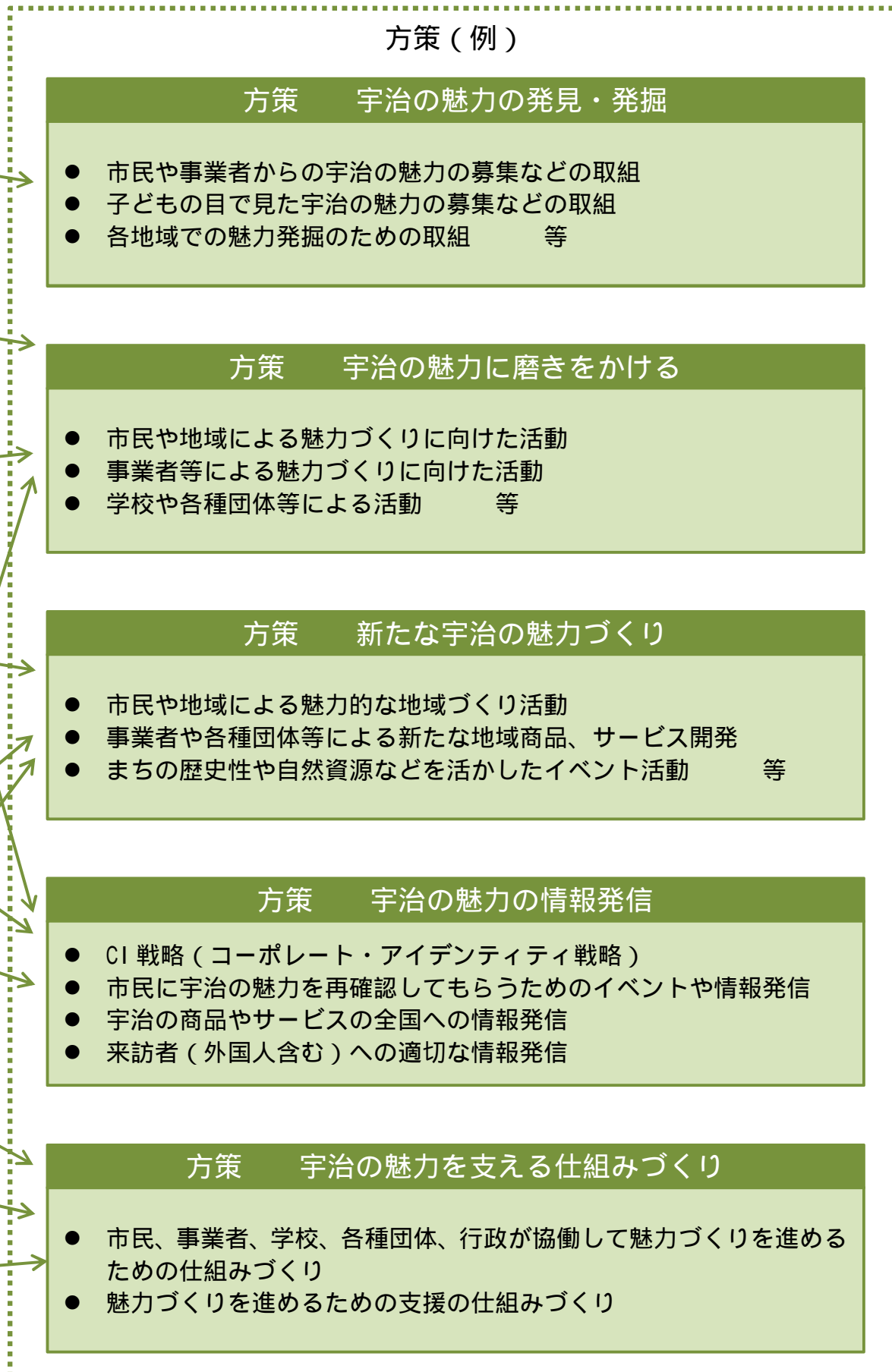
- ・魅力発信を進める主体については、以下のように設定します。
- ・それぞれの主体が個々に活動を進めるとともに、お互いに協力することでさらなる効果を発揮することを目指します。
- ・そのため、各主体の役割について検討を行います。



主体	役割（例）
市民	<ul style="list-style-type: none">● 全国の誰よりも宇治の魅力を知り、自ら楽しみ、発信する。● 宇治の魅力に関わる活動に関心を持ち、交流の場に参加する。
事業者	<ul style="list-style-type: none">● 事業者が知る宇治の魅力を、顧客だけでなく市民にも発信する。● 魅力発信活動に、市民等の力を積極的に借りる。
市役所	<ul style="list-style-type: none">● 市民等が行政サービスを十分に活用できるよう浸透を図る。● 行政だけでは解決できない課題に市民や事業者の助けを借りる。
各種団体	<ul style="list-style-type: none">● イベント等を通じ、市民が宇治の魅力を楽しむ場を提供する。● 市民が宇治の魅力を知ることができる機会を提供する。
学校	<ul style="list-style-type: none">● 宇治の自然・歴史・文化・産業などを教材として活用する。● 児童や学生が宇治の魅力を知る機会を増やす。

➤ 魅力発信の方策

・昨年度実施したシティプレゼンテーションの調査研究における課題と方向性を踏まえ、魅力発信の方策について検討を行います。



5 . 取組実行の仕組み

- ・ 行動指針を進めるための仕組みについて検討します。
- ・ 特に、協働の仕組みづくりや、具体的な取組を促進するための支援の仕組み等について検討します。